

東南村山 おいしい米づくり情報

第6号 中干し 編

発行：令和8年6月12日
村山総合支庁農業技術普及課
(TEL：023-621-8295)

移植の早い圃場（5/15日前後）では**生育進む**！
茎数を確保した圃場から、**速やかに作溝・中干し**を！

生育状況（6/10 現在、生育診断圃）

- 5月中旬までの好天により、移植の早い圃場では生育が進み、茎数・葉数は平年を上回り、葉色は濃くなっています。

品種 (地域)	移植日	年次	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD)
はえぬき (山形市羽黒堂)	5月14日	本年	26.9	226	7.1	39.9
		平年	26.2	188	6.1	36.6
		平年比	103%	120%	+1.0	+3.3
つや姫 (山形市南石関)	5月15日	本年	30.3	285	6.6	37.7
		平年	28.4	179	5.9	32.9
		平年比	107%	159%	+0.7	+4.8
雪若丸 (山形市羽黒堂)	5月17日	本年	23.0	265	6.9	39.0
		平年	24.0	143	6.0	34.7
		平年比	96%	185%	+0.6	+4.3

県オリジナル
生育予測技術！

「やまがた米づくりナビ」による生育予測（6/11 現在、作柄診断ほ）

- 5/15日前後に移植した圃場では、中干し開始の判断時期となる8葉期への到達は**6月16日～18日頃**と見込まれます。
- 遅れずに圃場を確認し、有効茎数が確保された場合は、速やかに中干しを行きましょう。

5/14 移植「はえぬき」

- ・中干し開始の判断時期（8葉期頃）→ 6月16日
- ・出穂期 → 8月1日

5/15 移植「つや姫」

- ・中干し開始の判断時期（8葉期頃）→ 6月18日
- ・出穂期 → 8月8日

5/17 移植「雪若丸」

- ・中干し開始の判断時期（8葉期頃）→ 6月17日
- ・出穂期 → 8月4日

有効茎数が確保された場合

- ・直ちに作溝・中干しを行って生育をコントロールし、穂肥がしっかり行える稲姿に仕上げましょう。
- ・基本的な中干しは、圃場に小ヒビが入る程度が目安です。圃場の生育量に合わせて、中干しの強度を調節しましょう。
 - ◎生育量が多い場合⇒「強め」の中干し（小ヒビが入ってから、更に数日干す）乾かし過ぎはNG！
 - ◎生育量が少ない場合⇒「弱め」の中干し（ヒビが入らない程度）

【表 中干し開始の茎数目安】

植込株数	つや姫	雪若丸	はえぬき
70株/坪植えの場合	19本	26本	21本
60株/坪植えの場合	22本	29本	24本

【中干しの効果】

- ・圃場停滞水を速やかに排水し、「中干し」の効果を高めます。
- ・効率よく圃場に水を行き渡らせることができるようになるため、登熟期の水管理が容易になります。

【作溝の効果】

- ・無効分げつの抑制、根の健全化、受光態勢の良化が図られます。

作溝は、**水資源を有効活用するための重要な技術**です！
確実に実施しましょう。
特に昨年夏期の湯水対策で作溝が大きな効果を発揮しました。

有効茎数が確保されていない場合

- ・引き続き**水深 2～3cm の浅水管理**として日中は**止水し、茎数確保に努めましょう。**
- ・土壌の異常還元（ワキ）による茎数不足や葉色低下が見られる場合は直ちに**夜間落水や田干し（2～3日）**を行い、6月中に有効茎数を確保しましょう。
- ・穂肥前には中干しを終了できるよう、遅くとも6月25日以降、速やかに中干しに入りましょう。

いもち病対策 ～取り置き苗は残っていませんか？～

- ・圃場の取り置き苗は、いもち病の発生源となります。**直ちに処分**しましょう！
- ・圃場をよく観察し、葉いもちの早期発見・早期防除を徹底しましょう。

斑点米カメムシ類対策

- ・斑点米カメムシ類の発生量は、平年より「**やや多い**」状況です（県病害虫防除所発生予察情報）。
- ・畦畔や農道の**草刈りを地域ぐるみで行い**、地域全体の斑点米カメムシ類の生息密度低下に努めましょう。
- ・斑点米カメムシ類は、**水田内の「ノビエ類」や「ホタルイ」**で繁殖するため、**残草対策を徹底**しましょう！



アカスジカスミカメ



アカヒゲホソミドリカスミカメ

～STOP 農作業事故～

農作業中の転落・転倒事故を防ぎましょう。
熱中症に要注意！作業中はこまめに水分補給と休憩を取りましょう。

「やまがた米づくりナビ」
(Agrilook) のサイトは
こちらから ⇒



ユーザ ID、パスワードは、
普及課へお問い合わせください。